

- 特集
- 小屋裏の熱気対策に「風之介シリーズ」早めの設置をおすすめいたします。
 - 小屋裏換気「風之介」ラインナップ
 - 多発する凶悪な強盗被害対策に
 - 床下浸水後の床下乾燥をサポート「ブロワートライアルキット」
- △ 重大事故（発煙・発火）防止のためのお願い
- 製品の塗装レス化に関して
 - 床下除湿機（ドライ・プロ）ドレン排水処理（資格不要）について

ご挨拶

謹んで新年のお祝いを申し上げます。旧年中はひとかたならぬご厚情を賜り、誠にありがとうございました。さて昨年はアメリカ、日本ともに政治が揺れ動き今後世界にどのような影響を及ぼすのか未知数であります。国内を見れば被災地復興も進まず、政治家・官僚のモラル低下も著しい中、依然景気を回復させる手立てもなく、取らぬ物価高、社会保険料・インボイス等の負担も増え続け国民生活の改善は一向に進まずの状況です。同様に私ども製造業も、またお客様である住宅建築業界におきましても厳しき状況が続いております。しかしながらこの局面を乗り越えていくために社内外において衆知を結集し、これまで以上の努力をしまっている所存でございます。

今回のニュースレターでは、毎年異常気象と言えほどに暑くなり続ける夏に弊社への問い合わせも急増している「小屋裏換気システム」を中心に記事を構成しています。昨年は暑くなってから工事依頼が押し寄せ、施工が間に合わない状況が散見されましたので、今年は余裕を持って暑くなる前に施工をお願いしたいと考えております。営業PR活動も含め早め早めの対応をお勧めいたします。

また、社会的問題になっている凶悪な窃盗被害や大雨による浸水被害などそれぞれのジャンルに対する対策商品もご紹介しておりますのでぜひ一読いただければ幸いです。まだまだ日本の経済状況は苦境の中にありますが、今後とも引き続き倍旧のご厚情とご支援を賜りたく、切にお願い申し上げます。

令和7年 元旦
セイホプロダクツ株式会社
代表取締役社長 大石 龍也

お客様とSEIHOをつなぐコミュニケーションペーパー



あすのビジネスのヒント！ PICK UP TOPICS

重大事故（発煙・発火）防止のためのお願い
2010年以前の製品は既に15年以上経過！
（劣化進行、安全面点検基準不適合にて継続使用不可）

床下・小屋裏換気扇を安全・安心してご使用いただくために（2010年以前の製品の使用停止～買い替え提案）

2009年：長期使用製品安全表示制度施行
 【設計上の標準使用期間：10年】

2010年：コンデンサを金属ボックスに収納し改正基準に適合。
 （2014年の技術基準改正に先駆け対応）

2025年現在
 改正技術基準に適合していない
2010年以前の製品は
標準使用期間（10年）を超過
既に15年以上経過

金属ボックス無し	金属ボックス有り	
2010 以前	2010～2012	2012 以降
コンデンサ 内部配線接続部	金属ボックス	
継続使用不可	点検後、継続使用可 （※但し表面のサビが半分以下、15年以内が目安）	

● 2010年以前の換気扇、経年劣化の事例
 ※経年劣化等により発火のおそれがあります。

2010年以前の換気扇（特にブロー型、攪拌型）については点検時継続使用は不可により使用停止～買い替え提案のより一層の取り組みをお願いいたします。

● 換気扇の消費電力表示やタイマー型式での判断目安

- 換気扇本体の消費電力表示
 - 型式シール記載「定格消費電力」
33/38W：金属ボックス無し
26/30W：金属ボックス有り
- 旧型タイマー（ST-301等）がついている場合
このタイマーが付いている場合、2010年以前の施工の可能性が高いと思われる。※2012年廃番

● 製品の塗装レス化に関して

弊社におきましては、SDGsへの取り組みの中で、「SDGs目標12」への責任感から責任に基づき製品外装の塗装レス化を進めております。

製品管体への塗装は、製品の外観を美しく見せるなどの効果がある一方で、一定の環境負荷が発生します。そのため、塗装を削減する事で環境負荷を低減させることにつながります。

一部製品に関しましては、既に塗装レス仕様に切り替わっておりますが、既にご型別別、ブランド別に順次仕様変更とさせていただきますのでご理解賜りますようお願い申し上げます。

※機能面につきましては、変更は一切ございません。

● ユーザー様への案内DMを無償提供いたします。是非、活用ください。内容調整、片道、往復はがき等、個別調整も承ります。

★買換えキャンペーン実施
 ※本キャンペーンは個別キャンペーンとなります。お取引先様につきましては弊社担当営業までお問い合わせください。

● 床下除湿機（ドライ・プロ）ドレン排水処理（資格不要）について

ドレン水の排水を住宅の洗面台の排水管（室内側）に直接配管する方法をご紹介します。

・ オプションのドレンポンプを追加し、洗面台底板とその下の床板にφ16mmの穴を開け、洗面台トラップ部へ排水器具を追加接続し、ドレン水の排水が可能になります。

※排水器具（リクシル製：電気温水器排水用）は洗面台のトラップ部の各仕様に応じたタイプで接続対応が可能です。※この排水管接続作業での資格や事業認可等の必要はありません。

● SEIHO オフィシャルニュースレター『ウインド・フロム・フューチャー』2025年 第50号 ● 発行日 / 2025年1月20日発行
 ● 発行 / セイホプロダクツ株式会社 機器営業本部 〒186-0971 福岡県大野城市牛頭2364-3 tel 092-595-0704 fax 092-595-0931

● 最新情報はこちらで SEIHO-WEB www.seiho-sdk.co.jp

このニュースレターは、環境にやさしい大豆油インキ（SOYINK）を使用しています。

多発する凶悪な強盗被害対策に。

昨年より全国で凶悪な窃盗団による被害が急増し大きな社会問題になっています。開き直った強引な犯行には絶対的な防衛策はありませんが、被害を最小に抑えるために、是非ともライフティエンズをお役立てください。

ライフティエンズは、警戒動作中の侵入発生と同時に、非常ボタンを押す時に大きな警告音が鳴り、登録した連絡先へ発報します。ワンタッチ通報ボタンに警察署や消防署を登録しておけば咄嗟の時に素早く通報が可能です。

非常ボタンを押すだけで通報！

各部屋に設置すると安心です。もしもの時は安全な部屋に入り非常ボタンを押します。大音量でイカク&自動通報！

製品概要

- 本体通報装置
ご家庭の一般電話回線に接続します。事務所などはFAX複合機に接続します。
- ワイヤレスコントローラー
警備のセット/解除を行う無線式のコントローラー。部屋ごとの部分警備も可能です。
- 窓ドアセンサー
基本となる無線式のセンサー窓やドアの開閉を検知し本体通報装置に送信します。
- ワイヤレス非常ボタン
無線式の非常ボタン浴室にも対応する防滴使用各部屋に設置すると安心です。

床下浸水後の床下乾燥をサポート「ブロワートライアルキット」

水害後の浸水部屋の床下乾燥について

昨年各地で大雨による床下浸水の被害が発生しています。床下浸水後の処置については時間もかかり、専門業者による対応も遅れがちになります。床下の汚泥処理や水処理が終わった後の対応を間違えると、カビ・悪臭・木材腐朽・感染症などの原因になることがあります。

弊社では迅速に床下を乾燥できるよう「ブロワートライアルキット」を準備しています。正規品の設置とは違い、床下に潜る必要がなく簡単に外側から床下換気口（基礎パッキング工法含む）に取り付けて換気することができます。短期間のレンタル使用などにも活用できます。

いかに床下を強力に換気し、短期間で乾燥させるかが重要になってきます。

※基礎パッキング工法にも対応

床下浸水被害の改善

強力排気

浸水被害に遭われたお客様の床下を少しでも早く乾かすために活用できます。床下に強力な風を送り、短期間で乾燥させるのが重要になります。

ほおっておくと、カビ・悪臭・腐朽・病気（感染症）原因に

※1週間から2週間ほど24時間連続運転し、その後床下の乾燥状態を確認してください。乾燥確認後も引き続き床下換気を行いたいとの要望があれば常設用の正規商品をご利用ください。

換気扇の仕様

- 品番：BL-11P
- 定格電圧：AC100V
- 定格周波数：50/60Hz
- 消費電力：26/30W
- 換気能力：209/200m³/h
- 騒音：45/44dB
- 質量：約3.2kg

ブロワートライアルキット

- 専用ブロー型換気扇 1台（電源コード10m）
- アタッチメント部材一式
- 漏電保護プラグ
- オープン面格

小屋裏換気「風之介」ラインナップ

2024年12月21日以降(一部商品は10月21日以降)の対象商品については塗装レスとなります

小屋裏換気システム

24時間換気サポートタイプ(熱気・結露対策用)

風之介ブロー24 (対応面積20坪まで)

クッドデザイン賞受賞商品

吹出ノズルタイプ
既存の換気口
を利用して排気
する場合は利用
します。(※3)

本体の方向は自由に取付可能です。
※壁・天井・床に取付可能です。

温度センサー
で小屋裏の温度
を感知し、強/弱
運転します。

セット内容
本体1台
温度センサーケーブル1本
(10メートル)
横付コード1本
付属部品一式

価格: SC-240・オープン価格

システムコントローラー

※風之介ブローシリーズには標準装備品

セット内容
本体2台
システムコントローラー SC-240(※2)
取付部品一式

価格: SC-240・オープン価格

結露対策追加用

風之介かくはん24 クッドデザイン賞受賞商品

セット内容
本体1台
取付部品一式

価格: CD-306-24-J
…オープン価格

※風之介ブロー24
専用追加送風機です。
他の機種には
使用できません。

価格: CF-240-TPL / -TFL …… オープン価格
(パイプ付) (取組ノズル)

価格: CF-240-TPX-J / -TPX-J … オープン価格
(パイプ付) (取組ノズル)

小屋裏結露対策換気システム

ユニットタイプ(結露対策用)

風之介ユニット (対応面積18坪まで)

クッドデザイン賞受賞商品

セット内容
ブロー型1台 かくはん型1台
タイマー ST-301e(※2) 取付部品一式

価格: UN-CFA-TPT / -TFT …… オープン価格
ブロー型(パイプ付) (取組ノズル)

価格: CF-400-TPX-J / -TPX-J … オープン価格
(単体) (パイプ付) (パイプ付) (取組ノズル)

UN-CF306B …… オープン価格
(単体)

対応面積は結露対策時の目安です。夏場の熱気対策として
ご使用の際は、ブロー型が2台必要となります。

仕様・機能一覧

機種	使用用途		付属コントローラ	
	熱気対策	結露対策	SC-240 (温度制御型)	ST-301e (タイマー運転)
風之介ブロー24	○	○	○ (※2)	
CD-306-24型		○ (追加用)		
風之介ブロー	○	△ (※)	○ (入/切運転)	
風之介ユニット		○		○

※コントローラーの「結露モード」追加設定が必要です。

品番	CF-240型		CD-306-24型		CF-400型		UN-CF型	
	強/弱	切換	強/弱	切換	強/弱	切換	入/切	タイマー運転
定格電圧(周波数)	AC100V (50/60Hz)							
消費電力	25/13 W	30/13 W	25/13 W	26/30 W	248/231 m³/h	248/231 m³/h	575/529 m³/h	26/30 W
換気能力/風量	240/115 m³/h	235/115 m³/h	535/260 m³/h	530/260 m³/h	248/231 m³/h	248/231 m³/h	575/529 m³/h	
騒音(※1)	41.5/22 dB	41.5/23 dB	43.5/27 dB	43/27 dB	50/48 dB	50/48 dB	46/43 dB	
質量	約2.6 kg		約3.8 kg		約2.5 kg		約3.8 kg	
対応面積	8~10坪/台(※4)		8~10坪/台(※4)		8~10坪/台(※4)		18坪まで/セット	

マーク機能説明

- UNIT: ユニットタイプです。
- 排気型: 排気型タイプです。
- 換気型: 換気型タイプです。
- 制御型: 制御型タイプです。
- 小室専用: 小室専用タイプです。
- 自動タイマー: 自動タイマー付の商品です。
- SC: システムコントローラー付の商品です。
- 換気型: 換気型タイプです。
- 小室専用: 小室専用タイプです。
- 自動タイマー: 自動タイマー付の商品です。
- SC: システムコントローラー付の商品です。
- 換気型: 換気型タイプです。
- 小室専用: 小室専用タイプです。
- 自動タイマー: 自動タイマー付の商品です。
- SC: システムコントローラー付の商品です。

長期使用製品安全点検・表示制度

チラシ&ハガキ

弊社床下・小屋裏換気システムの保証期間は5年です。24時間換気サポートタイプは3年(タイマー・コントローラーは2年、弊社では経年劣化による事故を防ぐために、長年にわたり使用した製品の安全点検をおすすめしています。)

※弊社がユーザー様への訪問依頼や直接訪問をすることはありません。ユーザー様への点検案内チラシや連絡ハガキを準備しておりますのでご利用ください。また点検に際してはチェック項目をまとめた床下換気・小屋裏換気点検チェックシートを用意しておりますので、このチェックシートに基づき実施することができます。

弊社床下・小屋裏換気システムの保証期間は5年です。24時間換気サポートタイプは3年(タイマー・コントローラーは2年、弊社では経年劣化による事故を防ぐために、長年にわたり使用した製品の安全点検をおすすめしています。)

涼しい気候・季節のときに施工されるのがおすすめです

毎年夏場になると小屋裏換気システムの問い合わせが増えます。すぐに施工をして欲しいというものが多くありますが、夏のエアコン施工に重なり、人手不足という時代背景も反映し、工事業者様の多忙により全面的に対応が遅れる場合が増えています。また、夏場は小屋裏温度が70℃近くになる場合もあり、脱水症状など起こしやすい、小屋裏内での作業が大変危険にもなります。そこで、10月以降のやや気温下がってきたタイミングでの施工をおすすめします。来るべき翌年の猛暑シーズンに備え、遅くとも3月くらいまでには設置をしてください。

日中は35℃以上の外気温であればなかなか小屋裏換気自体の効果は室内で体感できにくいかもしれません。けれども夕方以降、陽が落ちてからの放射熱の大小が大きく室内温度に影響してきます。結果的にエアコンの設定温度を上げたり、運転時間を短くしたりすることに繋がります。特にエアコンが苦手な方や就寝中はエアコンを切りたい方などにはお勧めです。

ここででは小屋裏の熱気対策として「小屋裏換気システム」を説明してまいりましたが、小屋裏換気が必要なシーズンには夏場だけではなく、冬場の寿命という点では冬場の結露対策が重要になってきます。冬型結露は小屋裏の木材部にはもちろん断熱材内部にも影響を及ぼす場合があります。小屋裏換気システムは、「夏場の熱気」「冬場の結露」両方の対策商品としてお考えください。

熱気対策だけでは無い「小屋裏換気」

ここまででは小屋裏の熱気対策として「小屋裏換気システム」を説明してまいりましたが、小屋裏換気が必要なシーズンには夏場だけではなく、冬場の寿命という点では冬場の結露対策が重要になってきます。冬型結露は小屋裏の木材部にはもちろん断熱材内部にも影響を及ぼす場合があります。小屋裏換気システムは、「夏場の熱気」「冬場の結露」両方の対策商品としてお考えください。

換気扇を運転し通風効果により結露発生抑制効果が認められた。

SEIHOテストハウスにて強制的に結露させた小屋裏で換気扇を動作させた場合(測定点: 風速0.5m時)

換気扇を運転し通風効果により約30%の湿気(水蒸気)排出が認められた。

SEIHOテストハウスの室内で石油ストーブを焚き、その影響で小屋裏に溜まった湿気(水蒸気)を測定。

換気扇が動く小屋裏に発生した黒カビ

換気扇が動く小屋裏に発生した黒カビ

小屋裏換気の活用でまず夏場の熱気対策をと考えますが、小屋裏換気的重要性は夏場に限ったものではありません。

夏場の小屋裏では 日射による熱が直接野地板の裏面に伝わり、輻射熱を小屋裏空間に放ち続けて小屋裏内の気温を上昇させてしまい暑い時期には60℃近くに達することがあり、時には60℃を超える場合もあります。

冬場の小屋裏では 寒い季節に、小屋裏に進入した水蒸気は、外気で冷やされた屋根裏の野地板や棟材などの表面で結露を発生させることになります。当然ながら結露は屋根の部材を劣化させることとなります。

家屋は、厳しい環境にさらされています。

自然換気だけで十分ですか? + 小屋裏機械換気が有効

結露を防止!
● 溜った暖気を逃す。
● 小屋裏に暖気を滞留させない。

● 1時間当たりの換気回数 **約7回**
換気扇2台設置
小屋裏面積65㎡の
(小屋裏面積約20坪) 場合

ポイント!

「小屋裏換気」見えないけれど重要です。
● いつもは見えない小屋裏の換気が、住まいと家族の健康の重要なポイントです。

1. 小屋裏の温度を下げます! 換気により熱気を排出し、冷房効率がアップします。

2. 小屋裏の結露をシャットアウト! 換気をすることで、結露の原因を取り除き、住まいの強度劣化を防ぎます。(結露は自然現象ですが、漏水と同じような被害をもたらします。)

冬場には結露発生によるトラブルが種々みられます。小屋裏の結露は放っておくと木材が腐朽し屋根材との接合部の強度を弱らせ台風や地震のときの耐久性が大きく劣化してしまいます。

冬こそ小屋裏換気。結露は夏場だけに発生するものではありません。
冬場室内で発生した様々な水蒸気が小屋裏にも入り、気温の変化によって空気を含みきれない水分が水滴となって木部や鉄骨に付着します。それが時間の経過とともに蓄積され住宅の寿命を縮めるのです。小屋裏の機械換気を適切に行うことは、結露による木材の劣化を防ぎ、健全な耐久性を保持することにつながります。

SEIHO HEADLINE

小屋裏の熱気対策に「風之介」シリーズ

早めの設置をおすすめいたします。

2024年の夏は例年以上の猛暑となりました。毎年、暑さが厳しくなっている状況が続いています。そのような気候変動の中、夏季(4月~10月)における室内の熱気、屋内の熱中症なども大きな問題となり、その対策としてエアコンの長時間運転が推奨されています。しかし、二階建て家屋の場合、二階部の室温の上昇が大きく、夕方以降も温度がなかなか下がりにくいです。室内の温度が上がるのは採光部が大きかったり、断熱が不十分だったりといくつか考えられますが、その大きな原因の一つとして小屋裏にこもった熱気による輻射熱があげられます。小屋裏内の温度は外気温35℃に対し70℃近くにもなります。

これが小屋裏に滞留し、居住部分への輻射熱を発生させ、エアコンの効率を下げ、室内上部と下部の温度差をうみ、家族の健康にも悪影響を及ぼします。

小屋裏の熱気の影響は大きい

もちろんエアコンをしっかり活用することは重要です。最近のエアコンはAIを利用して運転するタイプのものになっていきます。ただし、エアコンが室内を冷やしながらも、屋根に照りつける太陽熱は続くため小屋裏の温度は下がらず、室内にも熱が伝わり続けます。一方、エアコンは継続して室内を一定温度に下げようと動作し続けますので結果的に

前述したように、夏場に家の中の温度が高くなる理由はいくつかあげられますが、一番影響の大きいものは小屋裏にこもった熱によるものだと考えられます。そこで小屋裏換気システムの活用をお勧めします。小屋裏換気システムを設置すると温度センサーが設定した温度、例えば小屋裏が30℃以上になると自動的に強制換気を開始します。夏場であれば常に外気または室内空気が小屋裏に流入することになりますので小屋裏温度の上昇と滞留を防ぎます。結果的に室内に伝わる輻射熱も減少することになります。

室内の熱気の原因

2024年の夏は例年以上の猛暑となりました。毎年、暑さが厳しくなっている状況が続いています。そのような気候変動の中、夏季(4月~10月)における室内の熱気、屋内の熱中症なども大きな問題となり、その対策としてエアコンの長時間運転が推奨されています。しかし、二階建て家屋の場合、二階部の室温の上昇が大きく、夕方以降も温度がなかなか下がりにくいです。室内の温度が上がるのは採光部が大きかったり、断熱が不十分だったりといくつか考えられますが、その大きな原因の一つとして小屋裏にこもった熱気による輻射熱があげられます。小屋裏内の温度は外気温35℃に対し70℃近くにもなります。

小屋裏の温度(エアコンOFF時)

小屋裏の温度(エアコンON時)

小屋裏の温度(エアコンON時)

小屋裏の温度(エアコンON時)

SEIHOテストハウスにて比較実験(小屋裏面積65㎡の場合)

日時	外気最高温度	A熱気最高温度	B熱気最高温度	電力消費
08月25日	30.0℃	3.3 kWh	4.3 kWh	23.3%
09月01日	33.6℃	6.5 kWh	7.6 kWh	14.5%
09月05日	31.2℃	6 kWh	7.3 kWh	17.8%
09月08日	29.7℃	4 kWh	5.2 kWh	23.1%

SEIHOテストハウスにて比較実験(小屋裏面積65㎡の場合)

A熱(強制換気なし) B熱(強制換気あり)

電力消費(自然換気のみ) エアコン運転時(16:00~22:00までの同時測定)

測定器: ワイヤレスデータレコーダー(PTT-70-71・72)(※1)S3000(※2) 普通電力量計(S3305)(※3)標準設定